

県難言研ニュース

岩手県難聴言語障がい教育研究会事務局(盛岡市立桜城小学校内)

〒020-0022 盛岡市大通 3-8-1 Tel/Fax 019-624-0457

e-mail jimukyoku@iwate-nangen.jp <http://www.iwate-nangen.jp>

令和2年度 第3回理事会 報告

今年度は、新型コロナウイルスへの感染予防のため研修会や研究大会が中止となりましたが、研究班や地区研究会で、研究や研修を進めていただくことができました。

第3回理事会では、今年度の事業についての承認と来年度の事業についての協議をしていただきました。協議内容は、以下の通りです。この協議を受け、令和3年度の代議員会(書面開催)で正式に提案いたします。

1 令和3年度 研究計画について

研究主題「めざす子ども像を明らかにした、自立を促す指導・支援の在り方」
～活動の機会を広げる工夫～

【1年次・2年次】平成30・31年度

- 「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」の見直し
- 自己の課題に気付く学習活動の工夫

【3年次】令和2・3年度

- 学習への意欲を促す評価の工夫
- 主体的に人と関わる学習活動の工夫

【4年次】令和4年度

- 研究のまとめ
- 次年度の研究テーマの検討

研究班や地区研究会で研修を深めること、個人でも実践や研修を積み重ね、指導力を高めていくことが求められる。その際、以下を参考に研修計画を立案・推進する。

- ・『担当者研修ハンドブック』(平成22年度～24年度発刊)
- ・『研究紀要第18号』(H29年度第3版発刊)及び『研究紀要第27号』(H30年度発刊)
- ・『研究紀要第19号発音指導の基礎知識—構音器官と日本語の音声学について』
- ・構音指導の手引
- ・全難言協研修ハンドブック
- ・岩手県教育委員会「通級指導経営の手引」
- ・岩手県教育委員会「特別支援学級・通級による指導 教育課程編成ガイド」(ダウンロード)
- ・文部科学省「初めて通級による指導を担当する教師のためのガイド」(ダウンロード)

2 令和3年度事業計画について

(1) 令和3年度岩手県難聴言語障がい教育研究会代議員会

令和3年度岩手県難聴言語障がい教育研究会代議員会は、新型コロナウイルスの感染防止のため、書面による審議とさせていただきます。

＜書面による審議の予定＞

令和3年4月12日（月）代議員会（書面決議）資料配付

4月26日（月）代議員会（書面決議）報告締切

(2) 第38回岩手県難聴言語障がい教育研修会（案）

- ① 目的 きこえ・ことば・LD等通級指導教室および幼児教室担当者を対象として、難聴・言語障がい、LD等の基礎理論を研修し、指導力の向上を図る。
- ② 期日 令和3年5月7日（金）
- ③ 会場 いわて県民情報交流センター「アイーナ」
- ④ 内容 講座、協議

(ア) 講座

講座名		内容
講座A1	発音についての指導・支援Ⅰ	○実態把握, 指導計画, 耳の訓練, 機能訓練, 母音指導, 構音指導等について
講座A2	発音についての指導・支援Ⅱ	○習熟指導, 指導の実際, 保護者・学級との連携等について
講座B1	難聴についての指導・支援Ⅰ	○難聴についての理解 ○必要な指導・支援について
講座B2	難聴についての指導・支援Ⅱ	○指導計画と指導・支援の実際 ○教室経営と保護者・学級との連携
講座C	発達の特長や関わりについての指導・支援	○発達の特長や関わりについての理解 ○必要な指導・支援について
講座D	LD等通級指導教室の指導・支援	○指導計画と指導・支援の実際 ○教室経営と保護者・学級との連携
講座E	吃音についての指導・支援	○指導計画, 指導・支援の実際
講座F	口唇・口蓋裂についての指導・支援	○指導計画, 指導・支援の実際…保護者・学級・医療機関等との連携

(イ) 協議 言語通級指導教室担当、難聴班、幼児班、LD班による協議を行う。

内容	対象	運営責任者
教室経営上の問題点・悩み等	言語通級指導教室担当（5名程度のグループで協議）	地区理事 事務局
令和3年度の研修計画および教室運営について	難聴班：難聴通級指導教室担当および難聴学級担任	難聴班理事
	幼児班：幼児教室担当	幼児班理事
	LD班：LD等通級指導教室担当	LD班理事

⑤ 日程

9:30 10:00 11:20 11:40 13:00 14:00 15:30

受	講座 A1 B1	休憩	講座 A2 B2	昼	協議
付	C E 80分	移動	D F 80分	食	言語通級グループ 難聴班, 幼児班 LD班 90分

☆感染対策について

- ・全員が参集する開閉会行事と全体講座は行わない。
- ・昼食は各自で準備する。昼食会場では、1人1机に座り、無言で食べることを徹底する。
- ・協議では、事前に質問をとり、紙面で確認できる資料を準備する。会場の三密回避を工夫する。

⑥ 講師について…会員を中心に講師を依頼する。聴覚支援学校や教育センターからも考える。

(3) 岩手県難聴言語障がい教育研究会結成50周年記念大会・第62回研究大会（案）

- ① 期 日 令和4年1月7日(金)
- ② 会 場 いわて県民情報交流センター「アイーナ」※記念式典から「小田島組☆ほーる」を利用
- ③ 内 容 研究班・地区研究会の研究の発表と協議，記念講演(内容および講師は未定)
- ④ 日 程

9:30 9:45 11:15 11:30 13:00 14:00 14:40 15:00 16:30 17:30 19:30

受付	分科会90分 校長班 地区研(2地区) LD班(小学校)	休憩	分科会90分 難聴班 地区研(2地区) LD班(中学校)	昼食	記念式典	休憩	記念講演	移動	祝賀会
----	---------------------------------------	----	---------------------------------------	----	------	----	------	----	-----

3年次分科会発表研究班・地区

研究班・・・校長班，難聴班，LD班 地区研究会・・・岩手・胆江・宮古・県北地区

【校長班の発表分担】 ・校長班の発表は，県北教育事務所管内からの代表が行う。

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
発表分担	宮古 教育事務所	中止	県北 教育事務所	盛岡 教育事務所	中部 教育事務所	県南 教育事務所	沿岸南部 教育事務所

(4) 編集・刊行・調査等について

- ① 会報 「県難言研ニュース」…※令和3年度計画に沿う。(担当作成)
 - No. 197 6月 事務局 代議員会報告
 - No. 198 11月 上閉伊・気仙地区 理事会報告，地区研紹介等
 - No. 199 2月 宮古地区 県難言研結成50周年記念大会報告，地区研紹介等
 - No. 200 3月 事務局 理事会報告

【会報の編集分担】

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
6月発行分	事務局	事務局	事務局	事務局
11月発行分	胆江地区	上閉伊・気仙地区	県北地区	岩手地区
2月発行分		宮古地区	盛岡地区	花北地区
3月発行分	両磐地区	事務局	事務局	事務局

- ② 研究紀要・刊行物・・・第62回研究大会発表資料集
- ③ ホームページ作成・・・県難言研ニュースの掲載，研究班・地区研究会活動計画，研修会の情報（岩手県立総合教育センター含む），研究会情報，教材の紹介等
- ④ 調査関係・・・きこえ・ことば・幼児・LD等通級指導教室担当者及び指導児童数等の報告
- ⑤ 地区研究会補助費について・・・必ず会計監査を受けてください。3月22日報告締切。

(5) 運営組織体制・・・事務局，運営部，編集部，ホームページ部，結成50周年記念事業実行委員会

(6) 本研究会の名称変更・・・名称検討委員会の意向をつなぎ，理事会で検討し，記念大会で発表する。

(7) その他・・・結成50周年記念誌「五十年の歩み」が完成しました。どうぞご覧ください。

会員数と設置施設分を送付いたしました。作成にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

<令和3年度研究会，県親の会関係行事予定について>

(令和3年3月1日現在)

月	日	曜	事業名・行事名		
4	12	月	[県教委]	令和3年度通級指導教室担当者研修会	於 教育センター
	12	月	[県難言]	代議員会 書面開催(資料配付)	
	26	月	[県難言]	代議員会 書面開催(報告締切)	
5	7	金	[県難言]	第38回岩手県難聴言語障がい教育研修会	於 アイーナ
			[全難言協]	第1回全国理事会	於 駒沢小
6	1	火	[県難言]	第1回理事会，50周年第2回実行委員会	於 桜城小
	26	土	[県親の会]	令和3年度岩手県ことばを育む親の会大会 釜石・大槌大会	於 釜石市
			[県親の会]	岩手県ことばを育む親の会親子合宿研修会 サマーキャンプinカシオペア 中止	
7	29～30	木金	[全難言協]	第2回全国理事会 第50回全難言協全国大会<山梨大会>	於 山梨県 甲府市
			[県親の会]	第37回幼児期の言語教育研修講座	於
9	29	水	[県難言]	第2回理事会，50周年第3回実行委員会	於 桜城小
1	7	金	[県難言]	県難言研結成50周年記念大会・第62回研究大会	於 アイーナ
			[県親の会]	令和3年度県親の会「すっぴんの会」 (吃音がある子と親の交流会)	於
2	18	金	[県難言]	第3回理事会，50周年第4回実行委員会	於 桜城小

※ 変更がある場合には，各理事に連絡いたします。

<令和3年度代議員会の議長・書記について>

地区理事	令和3年度 代議員会	令和3年度 理事会①	令和3年度 理事会②	令和3年度 理事会③	令和4年度 代議員会
盛岡	※ 書面 開催		議長		
岩手				書記	
花北				議長	
胆江					書記
両磐					議長
上閉伊・気仙			議長		
宮古			書記		
県北				書記	

※ 理事本人が欠席の場合は代理を立ててください。

<事務局より>

今年度の会の運営に，ご理解とご協力をいただきました各研究班・地区研究会の理事および事務局担当の先生方，会員の皆様，関係機関の方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。来年度も感染予防に対応しながら進めていきたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。

両磐地区研究会です

今年度の両磐地区内の教室数は、ことばの教室は小10校12教室、幼児ことばの教室は3校3教室、LD等通級指導教室は小3校、中1校の4教室、きこえの教室は小1校、中2校の3教室の22教室が設置されています。

コロナ禍でいろいろなことが制限されている中ですが、今年度は、感染防止対策をとりながら8月、10月、

11月の3回、研究会を行い、地区研究の継続、研修、情報交換をしました。

10月の研究会では、きこえの教室の先生方が一関清明支援学校の三浦由紀子先生をお招きして研修しました。その様子を藤沢中学校の熊谷明香先生にまとめていただきました。



(11月の地区研の様子)

現在、両磐地区の中学校にきこえの教室が2クラスあります。学級数が少なく、きこえの教室を担当した経験のある教員も少ないため、情報量が少なすぎて困ることが多くありました。また、小学校と中学校では授業形態が教科担当制に大きく変わります。個別授業をどこまでできるか、何の教科で対応できるのかを入学前に準備をしっかりとすることが大事だと感じています。そのために小中学校の引継ぎや連携、保護者との教育相談による連携等が入学前に必要となります。

研修の中で、三浦先生からは「聞こえの実態把握」「中学校卒業後の進路」についてお話ししていただきました。必要な情報は、単純に大きな音で届けるだけでは不十分であり、「聞こえること＝言葉がわかる、会話の内容がわかることではない」ために、常にその児童生徒に適した合理的配慮が必要であることを教えていただきました。また、支援学校高等部卒業後の進路について過去の資料を見せていただきました。難聴の生徒は、進路について自分がどの道に進みたいかを決めるだけでなく、自分の障がい理解を受け入れ、周囲にも理解してもらうために必要なことを学ぶことが大事だということも教えていただきました。

難聴の生徒は、「自分のことを理解してくれない。」という苦しみを学校生活の中で感じるものがたくさんあります。わたしたち教員は、生徒が安心できる場所や時間をつくり、自分の自信につながる体験を経験させる活動を支援し、生徒が苦しみを乗り越える力になるよう関わっていくことが重要だと思いました。